第３章　調査結果の概況

３－１.対象者プロフィール

（１）基本属性（性別、年齢、職業）

・対象者の性別をみると、「男性」44.1%、「女性」55.5%である。
・年齢は、20代は１割未満、30代～50代､70代がそれぞれ１割台、60代は２割台を占めている。
・職業は、「無職（学生以外の無職)」の占める割合が38.5%と最も高く、次いで「自営業主およびその家族従事者」が18.5%「民間会社勤務で事務的な仕事の従事者」15.5%となる。

図 性別(Q41A)<N=1201>

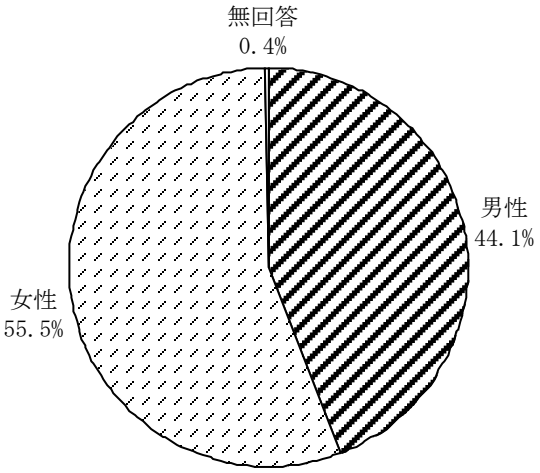


図 年齢(Q41B)<N=1201>

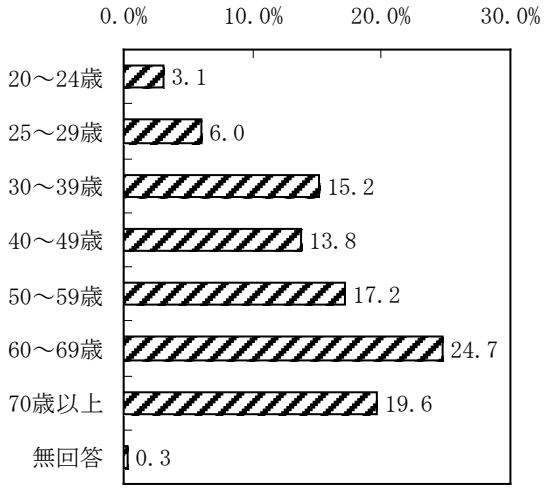
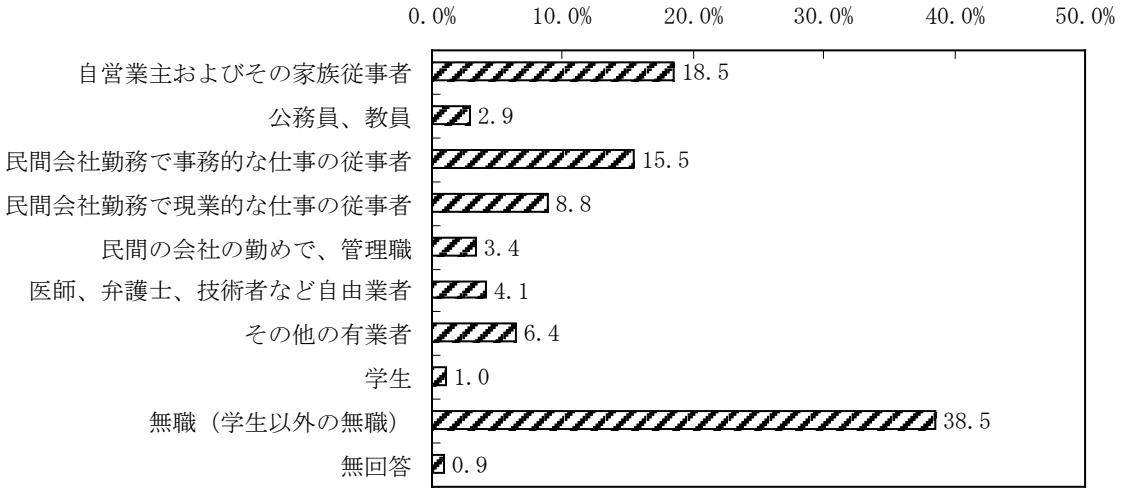


図 職業(Q41D)<N=1201>



注)数値は回収数を100とした%

（２）居住形態および大阪での居住期間・大阪への愛着度

・居住形態は持ち家層が約６割、賃貸層が約３割を占める。内訳をみると、「持ち家（一戸建）が42.4%と最も多く、「賃貸（民間)」20.7%、「持ち家（マンション等)」19.8%、「賃貸（公営、公団等)」11.1%と続く。
・大阪での居住期間は長い人が多く、「生まれてからずっと住んでいる（一時他出を含む)」が36.1%、「10年以上住んでいる」が48.5%を占める。
・大阪への愛着度は高く、「非常に愛着をもっている」55.5%、「ある程度愛着をもっている」36.1%を合わせると、９割は「愛着をもっている」ということになる。

図 居住形態(Q45F)<N=1201>

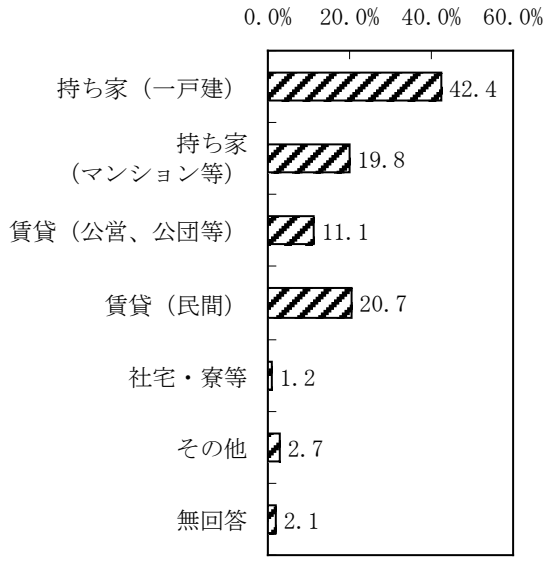


図 居住期間(Q41G)<N=1201>

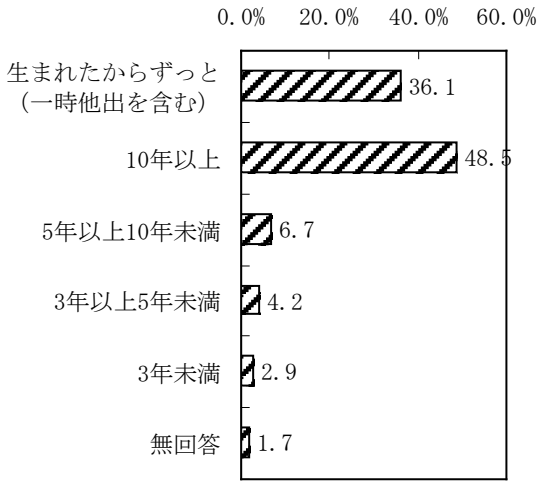
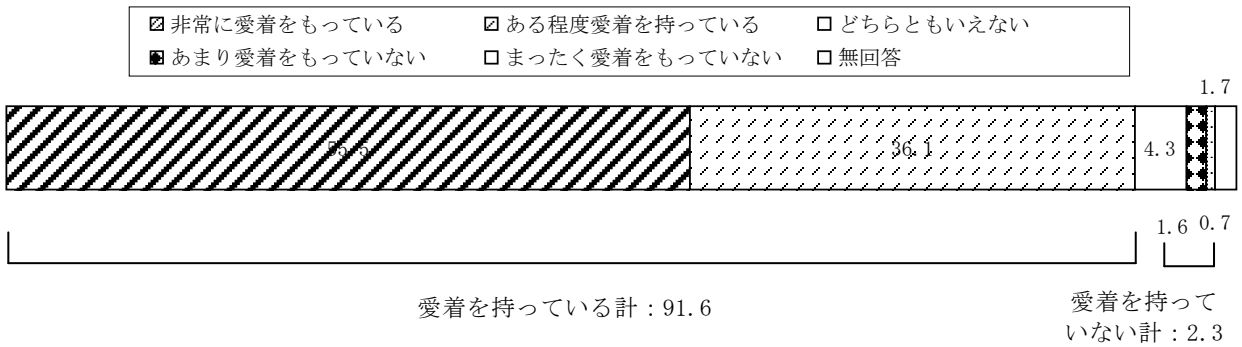


図 大阪への愛着度(Q41H)<N=1201>



注)数値は回収数を100とした%

（３）つながりの強いグループ

・日常の生活のなかで強いつながりを感じたり、あるいは役立っていると考えている団体やグループを複数回答で挙げてもらったところ、「とくにかかわりをもつ団体などはない」人は51.6%、「無回答」は3.2%で、残り４割強の人は何らかのグループに属しているとみられる。
・最も高いのはこれまでの調査同様「地域振興会・町内会」が22.4%と最も多く、「趣味のグループ」11.8%、「スポーツのグループ」10.2%と続く。

図 つながりの強いグループ(Q41E)<N=1201>

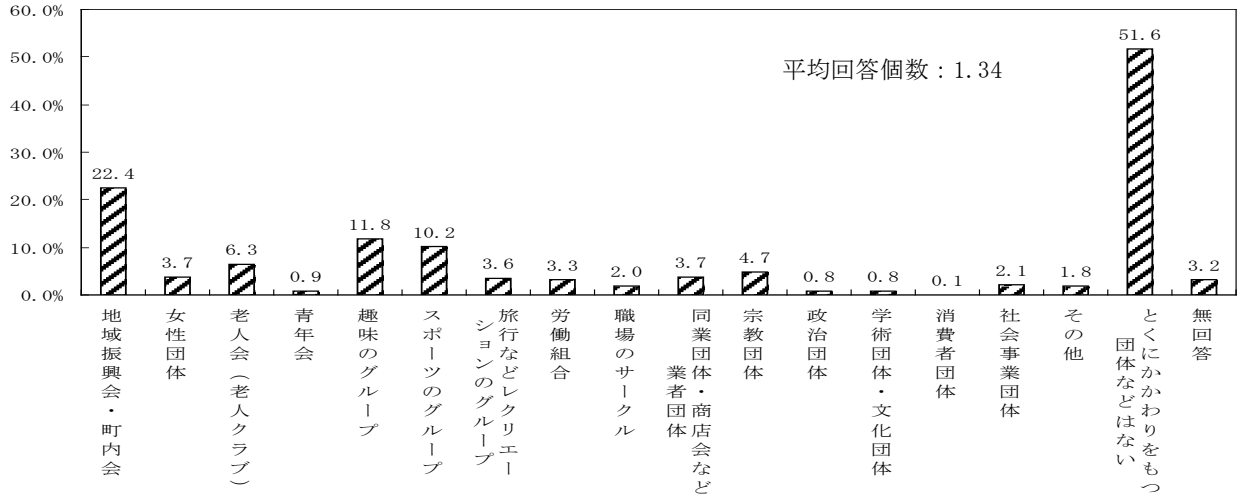


表 つながりの強いグループ（時系列変化）

	回収数	地域振興会・町内会	女性団体	老人会（老人クラブ）	青年会	趣味のグループ	スポーツのグループ	旅行などレクリエーションのグループ	労働組合	職場のサークル	同業団体・商店会など業者団体	宗教団体	政治団体	学術団体・文化団体	消費者団体	社会事業団体	その他	とくにかかわりをもつ団体などはない	無回答
昭和54年	1431	27.7	9.3	6.1	2.0	5.4	5.0	4.3	6.8	3.2	7.3	7.5	1.7	1.5	2.7	2.5	0.8	39.7	4.9
昭和58年	1857	33.7	9.1	8.8	2.1	12.3	8.6	7.3	7.1	6.7	8.2	11.7	2.9	2.7	5.0	4.1	2.0	28.8	6.9
昭和62年	1921	28.9	8.5	7.3	2.3	14.2	10.6	7.4	6.8	6.9	6.8	9.3	2.1	3.0	4.5	3.7	1.8	29.1	8.7
平成３年	1656	27.4	7.5	8.0	1.6	15.5	9.2	7.5	7.0	7.1	6.4	8.2	1.8	1.8	3.2	2.5	0.8	27.3	9.3
平成７年	1694	31.6	7.6	7.6	2.1	16.5	8.6	7.3	6.7	6.7	6.5	9.2	1.8	2.4	2.4	3.9	2.3	28.9	7.0
平成11年	1650	29.4	7.9	7.3	1.1	15.5	9.0	5.8	4.3	4.5	5.1	7.5	1.5	1.8	2.4	3.0	1.6	38.1	6.3
平成15年	838	29.0	2.6	7.9	1.3	18.1	9.2	5.6	3.6	3.6	6.0	6.9	1.8	3.2	3.7	3.5	1.7	35.7	8.6
平成19年	640	28.9	3.4	4.5	1.4	17.3	11.1	5.3	4.5	4.4	6.1	9.5	1.6	1.9	2.5	1.7	2.3	39.8	3.0
平成23年	1201	22.4	3.7	6.3	0.9	11.8	10.2	3.6	3.3	2.0	3.7	4.7	0.8	0.8	0.1	2.1	1.8	51.6	3.2

注)数値は回収数を100とした%。「女性団体」は平成11年以前は「婦人会」

３－２.明るく正しい選挙の認知状況および評価

（１）“明るく正しい選挙”についての評価

・今年４月10日に行われた“統一地方選挙”について、「非常に“明るく正しく”行われたと思う」人は5.3%、「まあ“明るく正しく”行われたと思う」人は65.0%で、両者を合わせると７割の人は、“明るく正しく”行われたと評価している。
・一方、「あまり“明るく正しく”行われなかったと思う」人は22.6%、「まったく“明るく正しく”行われなかったと思う」人は4.2%で、合わせると“明るく正しく”行われなかったと思う人は２割強みられる。
・これまでの調査と比較すると、「“明るく正しく”行われたと思う」人の割合は平成７年以降ほとんど同じである。

図 “明るく正しい選挙”についての評価(Q1)<N=1201>

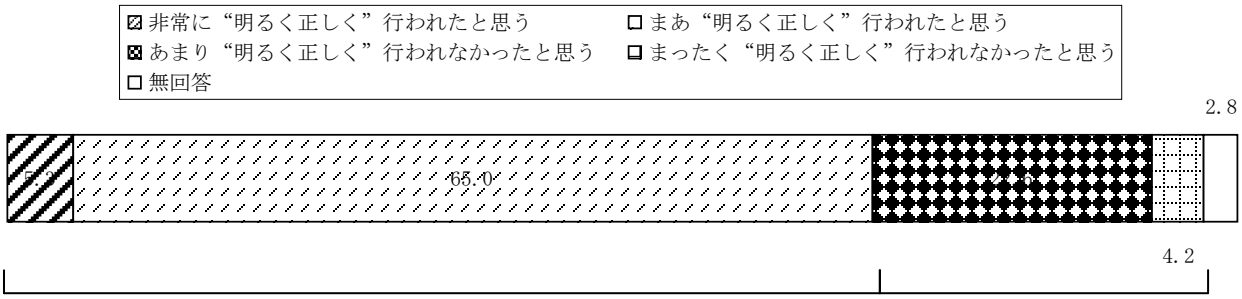


表 “明るく正しい選挙”についての評価（時系列変化）

	回収数	“明るく正しく”行われたと思う計	非常に“明るく正しく”行われたと思う	まあ“明るく正しく”行われたと思う	どちらともいえない	“明るく正しく”行われなかったと思う計	あまり“明るく正しく”行われなかったと思う	まったく“明るく正しく”行われなかったと思う	無回答
昭和54年	1431	30.7	－	－	39.4	15.6	－	－	14.5
昭和58年	1857	52.8	3.7	49.1	－	37.0	33.3	3.7	10.2
昭和62年	1921	65.6	4.3	61.3	－	27.9	24.8	3.1	6.5
平成３年	1656	59.7	3.9	55.8	－	33.2	29.5	3.7	7.2
平成７年	1694	72.1	4.6	67.5	－	24.0	20.7	3.3	3.9
平成11年	1650	71.8	4.8	67.0	－	22.9	20.6	2.3	5.3
平成15年	838	70.5	6.0	64.6	－	27.2	23.3	3.9	2.3
平成19年	640	75.5	5.5	70.0	21.7	21.7	18.6	3.1	2.8
平成23年	1201	70.4	5.3	65.0	－	26.8	22.6	4.2	2.8

注)数値は回収数を100とした%

（２）明るい選挙推進協議会の認知状況

・明るい選挙推進協議会について「知っている」人は15.7%、「知らない」人は82.4%である。
・前回（平成19年）までの調査とほぼ同じ認知傾向がみられる。

図 明るい選挙推進協議会の認知状況(Q2)<N=1201>

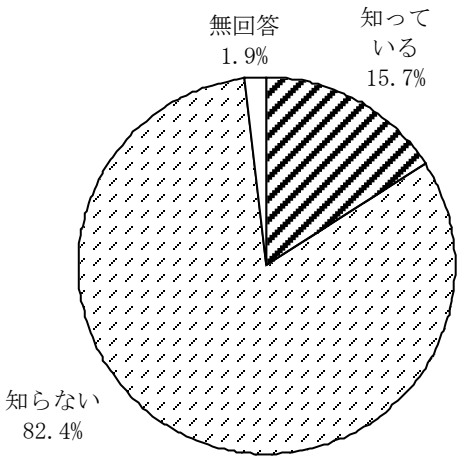


表 明るい選挙推進協議会の認知状況（時系列変化）

	回収数	知っている	知らない	無回答
平成７年	1694	21.3	76.4	2.3
平成11年	1650	17.2	80.2	2.7
平成15年	838	21.2	76.8	1.9
平成19年	640	15.3	82.3	2.3
平成23年	1201	15.7	82.4	1.9

注)数値は回収数を100とした%

（３）寄附禁止等や選挙違反内容の認知状況

・寄附禁止等の内容で違反と思われるものを複数回答で挙げてもらったところ、およそ９割の人は何らかの項目を認知しており、平均回答個数も4.10個みられ、認知は高い。８項目中４項目までは半数以上の人が認知しており、中でも認知が高いのは、「政治家が町内の各種会合にお酒を差し入れること」72.1%、「政治家に町内の祭りの寄附を求めること」59.5%などの町内会に対する寄附行為に関する項目である。
・同様に、選挙違反の内容で違反と思われるものを複数回答で挙げてもらったところ、８割強は何らかの項目を認知しており、平均で3.16個挙げられている。最も高いのは「選挙期間中に、映画や演劇等の幕間に特定の候補者が、投票をたのむこと」64.2%、次いで「選挙期間中、知人などの家を訪ねて特定候補者への投票をたのむこと」53.9%となっている。

図 寄附禁止等の認知状況(Q3)<N=1201>

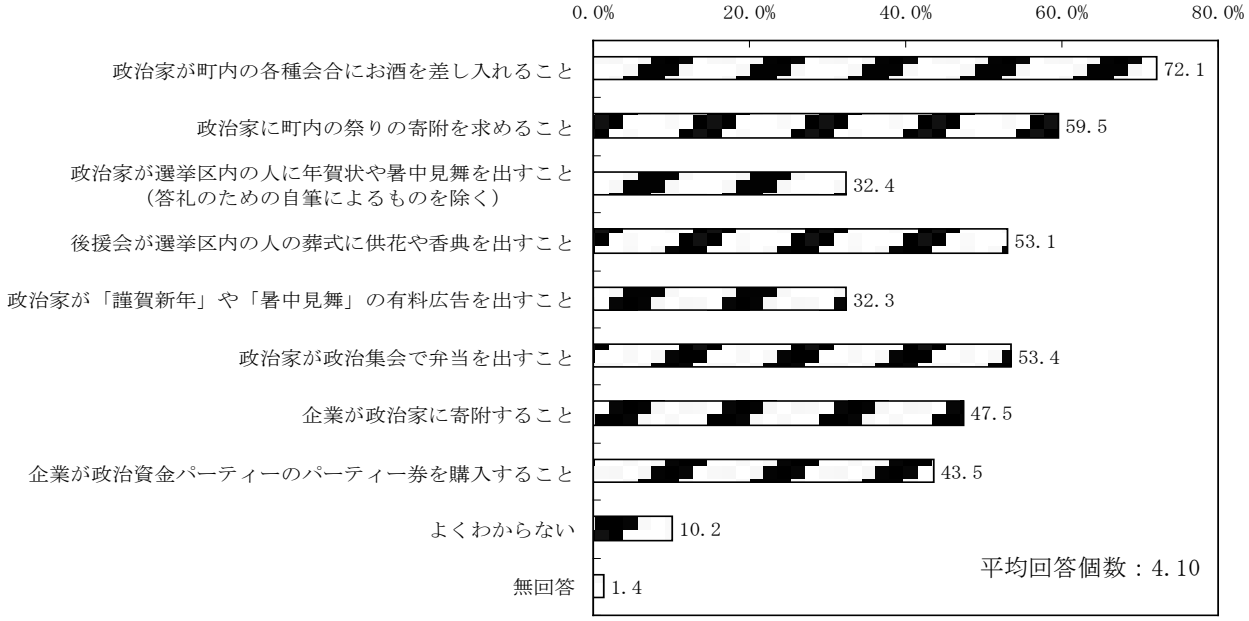
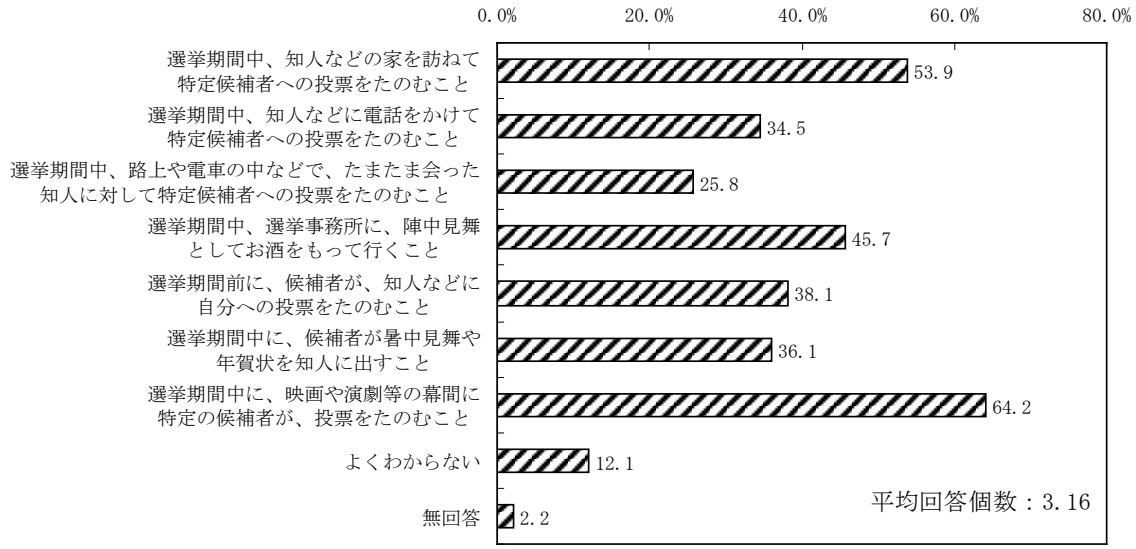


図 選挙違反の認知状況(Q4)<N=1201>



注)数値は回収数を100とした%

・前回（平成19年）結果と比較すると、寄附禁止等の認知では、町内への寄附、企業からの寄附に関しては下がる傾向にある。逆に選挙違反内容の認知では、各項目とも上がる傾向にある。
・「よくわからない」の割合が、寄附禁止等・選挙違反内容とも、１割を超えるようになっており、注意すべき動きと思われる。

表 寄附禁止等の認知状況（時系列変化）

	回収数	政治家が町内の各種会合にお酒を差し入れること	政治家に町内の祭りの寄附を求めること	政治家が選挙区内の人に年賀状や暑中見舞を出すこと（答礼のための自筆によるものを除く）	後援会が選挙区内の人の葬式に供花や香典を出すこと	政治家が「謹賀新年」や「暑中見舞」の有料広告を出すこと	政治家が政治集会で弁当を出すこと	企業が政治家に寄附すること	企業が政治資金パーティーのパーティー券を購入すること	よくわからない	無回答
平成３年	1659	76.3	69.7	40.8	59.1	38.8	60.6	－	－	9.1	3.7
平成７年	1694	77.0	70.4	3.8	58.0	31.9	59.6	61.4	60.6	4.5	1.8
平成11年	1650	74.7	66.8	30.8	54.5	29.9	56.5	60.3	57.1	5.6	4.7
平成15年	838	75.1	64.7	27.4	57.3	25.8	53.5	58.1	53.2	6.4	1.4
平成19年	640	74.4	61.4	25.5	56.7	24.4	59.4	52.8	52.0	13.3	1.4
平成23年	1201	72.1	59.5	32.4	53.1	32.3	53.4	47.5	43.5	10.2	1.4

表 選挙違反内容の認知状況（時系列変化）

	回収数	選挙期間中、知人などの家を訪ねて、特定候補者への投票をたのむこと	選挙期間中、知人などに電話をかけて、特定候補者への投票をたのむこと	選挙期間中、路上や電車の中などで、たまたま会った知人に対して特定候補者への投票をたのむこと	選挙期間中、選挙事務所に、陣中見舞としてお酒をもって行くこと	選挙期間前に、候補者が、知人などに、自分への投票をたのむこと	選挙期間中に、候補者が暑中見舞や年賀状を知人に出すこと	選挙期間中に、映画や演劇等の幕間に特定の候補者が、投票をたのむこと	よくわからない	無回答
昭和62年	1921	51.0	30.0	23.1	28.7	37.5	29.2	61.8	7.2	7.0
平成３年	1659	59.7	40.5	31.0	42.2	42.5	45.2	66.3	9.3	4.3
平成７年	1694	55.4	31.7	24.7	42.9	39.0	40.5	67.7	8.3	4.3
平成11年	1650	49.9	31.5	24.1	42.1	37.2	37.0	63.6	10.5	7.2
平成15年	838	48.6	32.3	22.9	40.1	38.3	32.9	61.8	7.6	7.4
平成19年	640	48.4	31.3	21.4	41.6	34.5	32.8	63.3	15.3	2.8
平成23年	1201	53.9	34.5	25.8	45.7	38.1	36.1	64.2	12.1	2.2

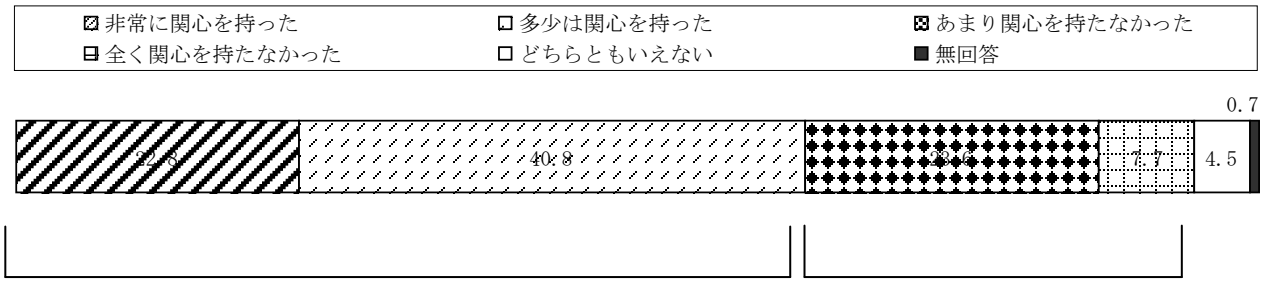
注）数値は回収数を100とした％

３－３.大阪市会議員選挙の投票行動

（１）市議会議員選挙への関心度および投票した人の争点・関心

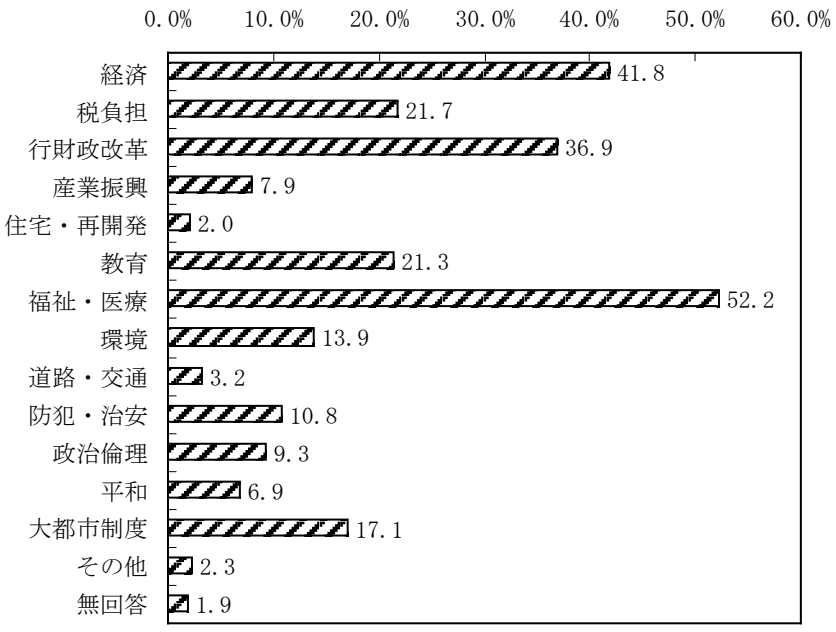
・今回の市議会議員選挙について「非常に関心を持った」人は22.8%、「多少は関心を持った」人は40.8%で、合わせると関心を持った人は63.6%を占める。一方、「あまり関心を持たなかった」23.6%、「全く関心を持たなかった」7.7%と合わせると関心を持たなかった人は31.3%となる。
・投票した人の関心を持った点を３つまで聞いたところ、最も高いのが「福祉・医療」52.2%、次いで、「経済」41.8%、「行財政改革」36.9%の順となっている。

市議会議員選挙への関心度(Q5)<N=1201>



注)数値は回収数を100とした%

図 投票した人の争点・関心(Q5)<N=1201>

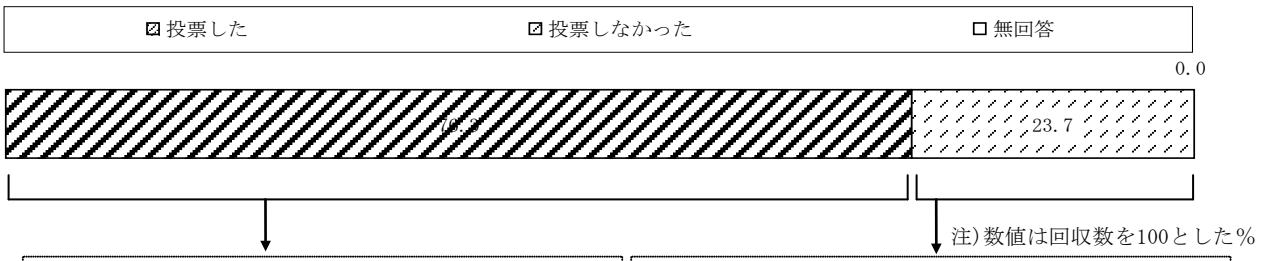


注)数値は投票した人を100とした%

（２）市議会議員選挙の投票状況および投票・棄権の主な理由

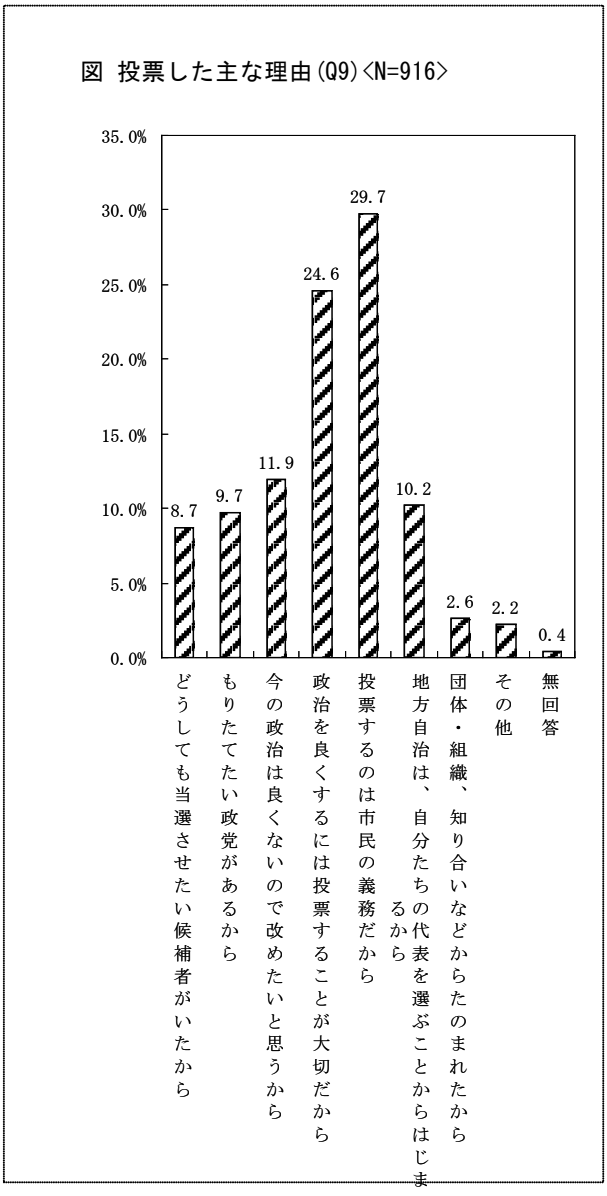
・今回の市議会議員選挙に「投票した」人は76.3％を占める。投票した理由をひとつだけ聞いたところ、最も多い理由は「投票するのは市民の義務だから」29.7％。以下、「政治を良くするには投票することが大切だから」24.6％、「今の政治は良くないので改めたいと思うから」11.9％と続いている。
・一方、「投票しなかった」人は23.7％。棄権の理由をひとつだけ聞いたところ、最も多い理由は「用事があったから（忙しかったから）」29.1％。以下、「候補者の政策や人物などがよくわからないから」16.5％、「病気だったから」13.0％と続いている。

図 市議会議員選挙の投票状況(Q6)<N=1201>



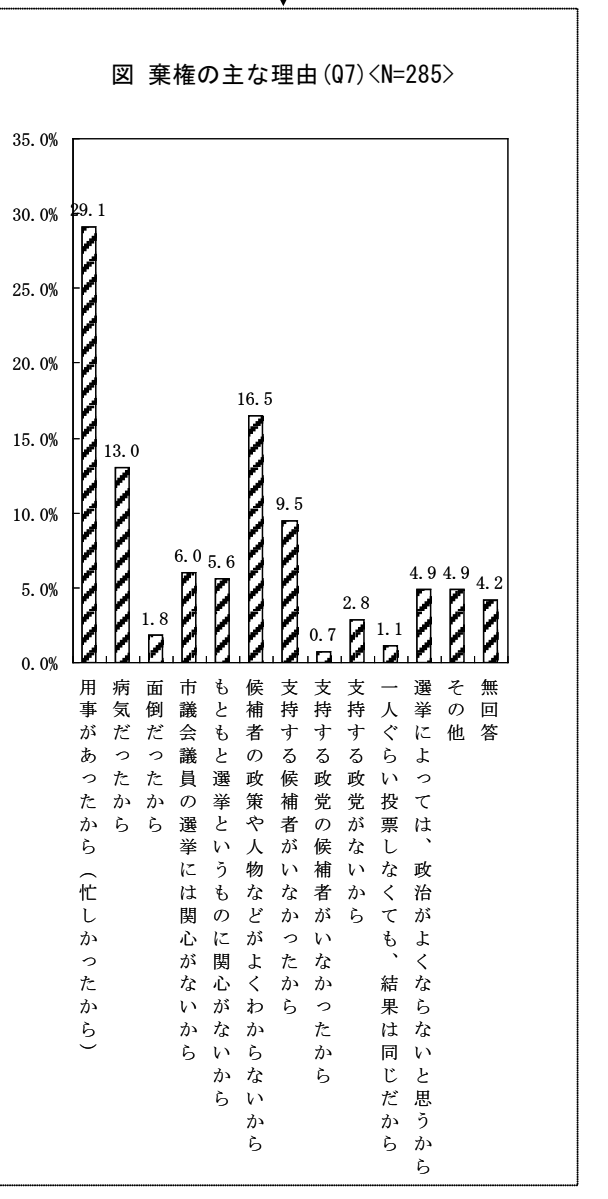
注)数値は回収数を100とした％

図 投票した主な理由(Q9)<N=916>



注)数値は投票した人を100とした％

図 棄権の主な理由(Q7)<N=285>



注)数値は投票しなかった人を100とした％

・投票した人の割合は平成７年以降７割台とほぼ変わらない。
・投票した主な理由は前回（平成19年）とほぼ同じであるが、「もりたてたい政党があるから」「今の政治は良くないので改めたいと思うから」がやや高く、「政治を良くするには投票することだから」「どうしても当選させたい候補者がいたから」がやや低くなっている。
・また、棄権した主な理由としては、前回同様「用事があったから（忙しかったから）」が29.1％で最も高い。

表 市議会議員選挙の投票状況（時系列変化）

	回収数	投票した	投票しなかった	無回答
昭和54年	1368	80.3	18.8	0.9
昭和58年	1857	77.5	21.4	1.1
昭和62年	1921	47.3	2.2	0.5
平成３年	1574	69.4	30.4	0.2
平成７年	1496	73.3	26.5	0.2
平成11年	1650	75.5	24.1	0.4
平成15年	838	75.7	23.7	0.6
平成19年	640	73.6	26.1	0.3
平成23年	1201	76.3	23.7	0.0

注）数値は回収数を100とした％

表 投票した主な理由（時系列変化）

	投票した人	どうしても当選させたい候補者がいたから	もりたてたい政党があるから	今の政治は良くないので改めたいと思うから	政治を良くするには投票することが大切だから	投票するのは市民の義務だから	地方自治は、自分たちの代表を選ぶことからはじまるから	団体・組織、知り合いなどからたのまれたから	その他	無回答
昭和54年	1099	20.3	5.2	4.0	16.0	33.5	14.7	3.5	0.5	2.3
昭和58年	1439	15.6	6.6	5.1	18.2	32.9	16.7	3.3	0.9	0.7
昭和62年	1427	13.6	5.6	7.7	18.9	32.4	16.2	2.4	1.1	2.1
平成３年	1093	10.2	6.4	6.8	21.5	34.5	17.0	2.3	0.8	0.5
平成７年	1096	17.5	3.9	12.5	20.4	28.9	12.0	2.3	1.4	1.0
平成11年	1246	11.9	3.2	6.3	24.1	34.3	13.4	2.9	1.9	2.0
平成15年	643	15.3	4.7	8.2	22.6	31.1	10.4	4.6	2.2	4.6
平成19年	471	12.1	4.9	8.9	28.2	28.9	10.8	2.1	1.9	2.1
平成23年	916	8.7	9.7	11.9	24.6	29.7	10.2	2.6	2.2	0.4

注）数値は投票した人を100とした％

表 棄権の主な理由（時系列変化）

	回収数	用事があったから（忙しかったから）	病気だったから	面倒だったから	市議会議員の選挙には関心がないから	もともと選挙というものに関心がないから	候補者の政策や人物などがよくわからないから	支持する候補者がいなかったから	支持する政党の候補者がいなかったから	支持する政党がないから	一人ぐらい投票してもしなくても、結果は同じだから	選挙によっては、政治がよくならないと思うから	その他	無回答
昭和54年	257	416	15.9	3.5	3.5	4.3	7.0	6.6	－	1.6	2.7	4.7	5.8	2.7
昭和58年	397	30.5	12.8	2.3	3.3	6.3	13.1	7.8	1.0	1.8	2.3	7.3	9.3	2.3
昭和62年	485	33.8	15.1	2.1	1.4	4.9	17.5	7.0	0.6	0.6	1.6	5.2	8.0	2.1
平成３年	478	29.9	11.7	2.7	3.3	4.2	18.2	10.7	1.3	1.3	1.5	7.1	5.2	2.9
平成７年	397	31.2	12.8	2.8	2.5	8.8	15.6	10.6	1.3	1.8	2.3	5.0	3.5	1.8
平成11年	397	27.2	15.1	3.8	2.8	8.1	14.1	9.3	2.5	1.8	1.8	6.3	5.8	1.5
平成15年	199	32.2	11.1	2.0	6.5	3.5	22.6	10.6	2.0	1.0	1.5	7.5	3.0	0.5
平成19年	167	31.1	9.0	1.2	7.2	5.4	15.6	9.6	0.6	1.8	0.0	3.6	9.0	6.0
平成23年	285	29.1	13.0	1.8	6.0	5.6	16.5	9.5	0.7	2.8	1.1	4.9	4.9	4.2

注）数値は投票しなかった人を100とした％

（３）市議会議員選挙の投票時間および投票所の雰囲気の評価

・投票した人の半数近くは午前中に投票を済ませており、「午前9時～午前10時」12.9%、「午前10時～午前11時」11.8%が多い時間帯である。午後に投票した人は約４割である。また、「期日前投票」をした人が12.1%、「不在者投票」をした人が2.0%みられる。
・投票所の雰囲気を複数回答で挙げてもらったところ、「入りやすかった」が64.8%と最も高い。「明るい感じがした」も17.6%を占め、概ね良い雰囲気と捉えられている。
・投票所の雰囲気をこれまでの調査と比較すると、「入りやすかった」は増えており、逆に「堅苦しい感じがした」が低下している。

図 投票時間(Q8)<N=916>

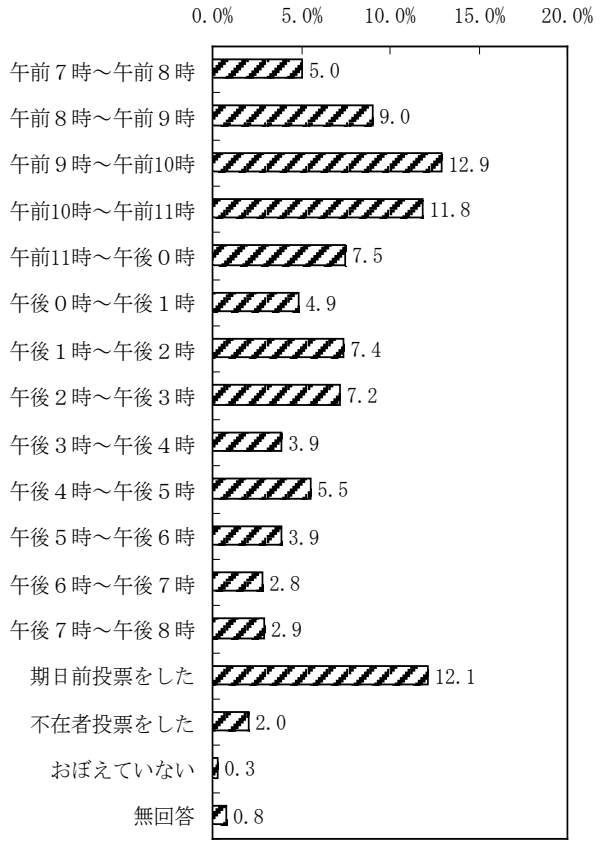


図 投票所の雰囲気の評価(Q10)<N=916>

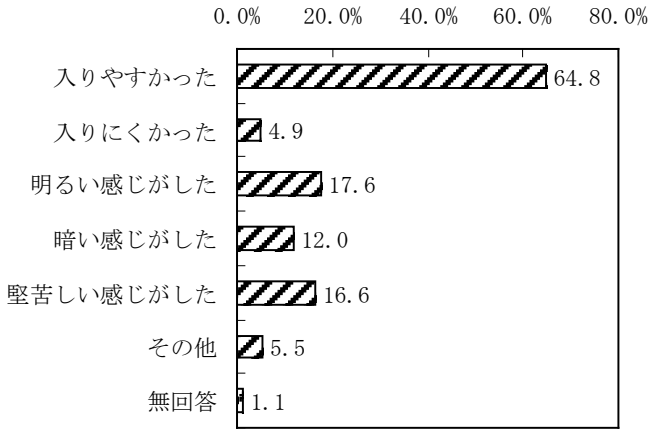


表 投票所の雰囲気の評価（時系列変化）

	回収数	入りやすかった	入りにくかった	明るい感じがした	暗い感じがした	堅苦しい感じがした	その他	無回答
平成７年	1096	55.8	8.9	27.3	12.9	26.9	8.0	2.1
平成11年	1246	58.9	5.4	25.8	9.7	24.2	7.4	2.8
平成15年	643	55.5	6.5	20.5	13.1	21.8	6.0	4.9
平成19年	471	59.2	4.9	14.4	12.7	22.1	8.9	1.9
平成23年	916	64.8	4.9	17.6	12.0	16.6	5.5	1.1

注)数値は投票した人を100とした%

（４）市議会議員選挙の候補者決定の時期および選択理由

・市議会議員選挙で選んだ候補者に投票することを決めた時期は「選挙期間に入る前から決めていた」が36.9％と最も高く、これに「選挙期間の初めごろに決めた」12.8％、「選挙期間の中ごろに決めた」8.6％を加えると、約６割は選挙期間の中ごろまでに決めている。
・投票した候補者に決めた理由をひとつだけ聞いたところ、「その候補者の所属している政党の政策や主義・主張に賛成だから」が42.8％で最も高く、以下、「その候補者は、地元のためにつくしてくれるから」18.1％、「その候補者の政策や主義・主張に賛成だから」14.5％と続いている。

図 候補者決定の時期(Q12)<N=916>

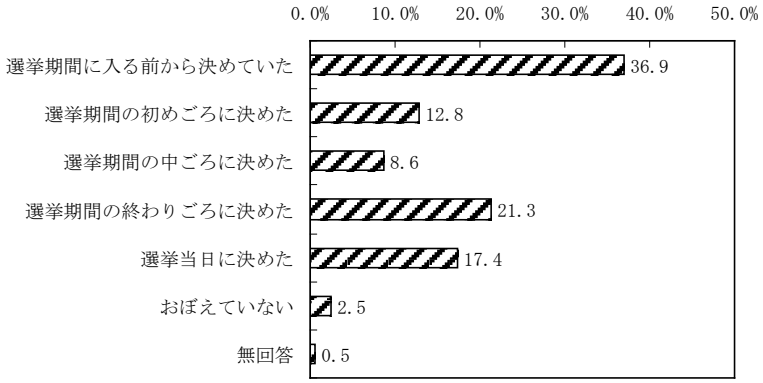
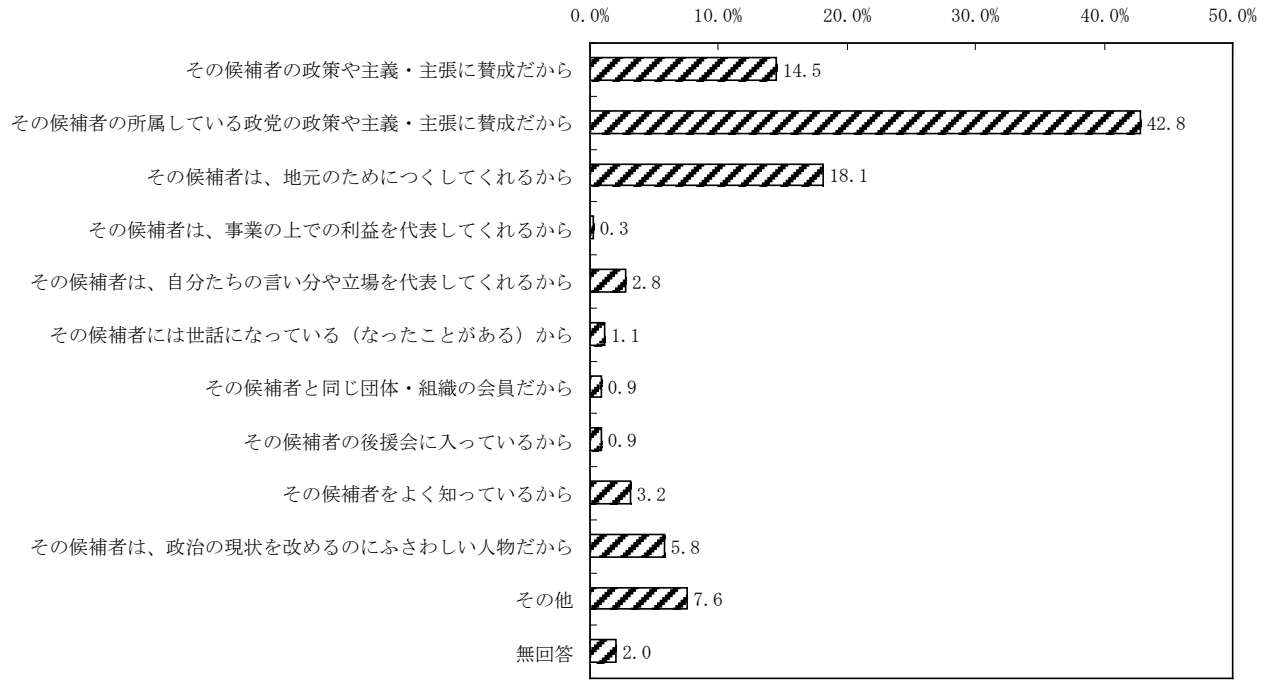


図 候補者選択の主な理由(Q11)<N=916>



注)数値は投票した人を100とした％

・従来の調査と比較すると、「選挙期間に入る前から決めていた」「選挙期間の初めごろに決めた」「選挙期間の中ごろに決めた」という、比較的早い時期から決めている人の割合が近年下がり、「投票当日に決めた」人の割合が高くなる傾向がみられる。
・候補者選択の主な理由は、これまでの調査とさほど大きな違いはみられない。ただし、「その候補者の所属している政党の政策や主義・主張に賛成だから」が前回に比べ、高くなっている。

表 候補者決定の時期（時系列変化）

	投票した人	選挙期間に入る前から決めていた	選挙期間の初めごろに決めた	選挙期間の中ごろに決めた	選挙期間の終わりごろに決めた	投票当日に決めた	おぼえていない	無回答
昭和54年	1099	42.2	18.5	13.8	14.9	7.6	1.8	0.9
昭和58年	1439	44.2	17.5	12.4	14.7	8.6	1.6	1.0
昭和62年	1427	49.4	13.9	11.6	14.0	8.3	1.6	1.1
平成３年	1093	43.1	13.6	12.5	14.6	11.2	2.9	2.0
平成７年	1096	41.1	13.9	10.5	19.1	12.2	2.3	0.9
平成11年	1246	38.0	13.2	13.6	16.5	13.6	2.8	2.1
平成15年	643	39.1	11.5	10.3	16.2	15.6	1.9	5.4
平成19年	471	40.8	11.0	10.8	18.3	16.3	2.1	0.6
平成23年	916	36.9	12.8	8.6	21.3	17.4	2.5	0.5

表 候補者選択の主な理由（時系列変化）

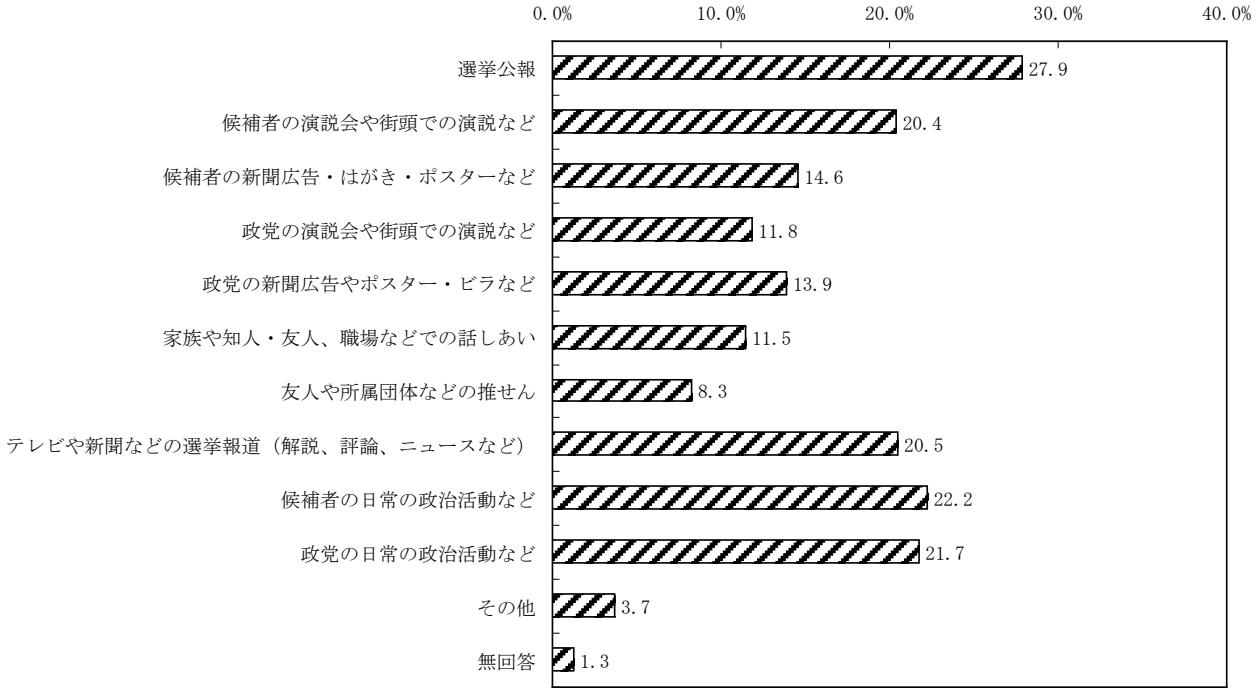
	投票した人	その候補者の政策や主義・主張に賛成だから	その候補者の所属している政党の政策や主義・主張に賛成だから	その候補者は、地元のためにつくしてくれるから	その候補者は、事業の上での利益を代表してくれるから	その候補者は、自分たちの言い分や立場を代表してくれるから	その候補者には世話になっている（なったことがある）から	その候補者と同じ団体・組織の会員だから	その候補者の後援会に入っているから	その候補者をよく知っているから	その候補者は、政治の現状を改めるのにふさわしい人物だから	その他	無回答
昭和54年	1099	15.7	19.9	29.9	2.5	8.0	1.8	1.5	2.3	3.5	6.2	1.3	7.6
昭和58年	1439	14.4	25.4	27.5	0.7	7.6	1.6	2.2	3.3	4.9	5.2	4.6	2.5
昭和62年	1427	16.4	23.1	27.7	0.6	8.5	1.1	1.9	2.2	4.3	7.4	4.6	2.2
平成３年	1093	16.5	23.4	22.7	0.4	7.2	1.0	2.5	2.7	5.2	9.7	5.7	3.1
平成７年	1096	17.3	15.1	25.5	0.1	6.8	1.3	1.9	3.2	7.0	10.9	8.0	2.9
平成11年	1246	15.6	21.6	25.2	0.5	7.2	1.4	1.9	2.0	6.4	6.7	8.3	3.2
平成15年	643	12.5	24.8	26.8	0.2	5.5	0.9	2.8	2.8	6.5	5.7	9.0	6.0
平成19年	471	16.6	28.0	23.1	0.2	3.8	1.9	1.1	1.5	5.7	6.8	8.7	2.5
平成23年	916	14.5	42.8	18.1	0.3	2.8	1.1	0.9	0.9	3.2	5.8	7.6	2.0

注)数値は投票した人を100とした％

（５）市議会議員選挙の候補者決定に役立った情報および判断材料の充足度

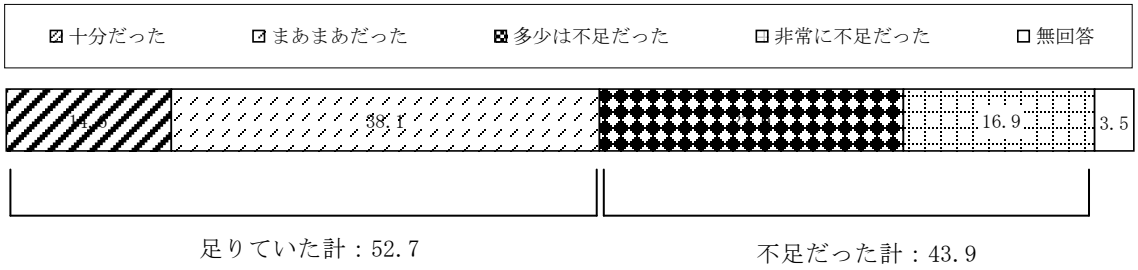
・候補者決定に役立った情報を複数回答で挙げてもらったところ、「選挙公報」が27.9％と最も高く、以下、「候補者の日常の政治活動など」22.2％、「政党の日常の政治活動など」21.7％と続いている。
・候補者決定の判断材料については、「十分だった」が14.6％、「まあまあだった」が38.1％で、両者を合わせると、充足していたという人は52.7％と過半数を占める。一方、「多少は不足だった」は27.0％、「非常に不足だった」は16.9％で、両者を合わせると、不足だったという人は43.9％である。

図 候補者決定に役立った情報(Q13)<N=916>



注)数値は投票した人を100とした％

図 候補者決定の判断材料の充足度(Q20)<N=1201>



注)数値は回収数を100とした％

・候補者決定に役立った情報は、前回調査（平成19年）と上位の傾向は変わらないが、「テレビや新聞などの選挙報道（解説、評論、ニュースなど）」が、20.5％と前回と比べて大幅にふえている。
・候補者決定の判断材料の充足度は平成３年以降、ほど同程度の評価となっているが、足りているとする意見は減少傾向にある。

表 候補者決定に役立った情報（時系列変化）

	投票した人	選挙公報	候補者の演説会や街頭での演説など	候補者の新聞広告・はがき・ポスターなど	政党の演説会や街頭での演説など	政党の新聞広告やポスター・ビラなど	家族や知人・友人、職場などでの話しあい	友人や所属団体などの推せん	テレビや新聞などの選挙報道（解説、論評、ニュースなど）	候補者の日常の政治活動など	政党の日常の政治活動など	その他	無回答
昭和62年	1427	15.9	19.5	5.5	6.9	5.5	11.0	7.4	9.9	33.8	19.1	2.5	1.8
平成３年	1093	21.0	21.4	7.3	7.3	7.4	9.4	7.3	11.6	30.2	16.4	1.5	2.7
平成７年	1096	21.0	16.6	9.6	6.3	7.6	13.6	6.0	12.5	33.9	13.8	2.1	3.4
平成11年	1246	22.6	16.3	10.6	7.0	9.2	10.0	6.7	12.2	26.4	14.5	2.4	4.3
平成15年	643	24.8	24.3	14.8	12.5	11.4	14.8	11.8	10.3	29.2	16.2	3.3	6.3
平成19年	471	29.9	26.5	13.0	10.8	10.8	14.6	11.3	8.7	29.9	20.8	4.2	0.6
平成23年	916	27.9	20.4	14.6	11.8	13.9	11.5	8.3	20.5	22.2	21.7	3.7	1.3

注）数値は投票した人を100とした％

表 候補者決定の判断材料の充足度（時系列変化）

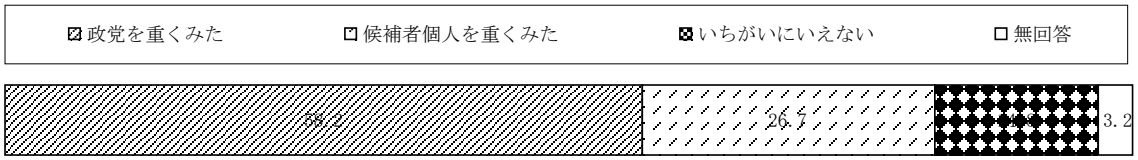
	回収数	足りていた計	十分だった	まあまあだった	不足だった計	多少は不足だった	非常に不足だった	無回答	どちらでもない
昭和54年	1368	48.0	13.9	34.1	26.4	19.9	6.5	3.3	16.6
昭和58年	1857	62.7	19.7	43.0	30.2	18.2	12.0	7.2	－
昭和62年	1921	61.7	18.1	43.6	29.2	18.4	10.8	9.1	－
平成３年	1574	54.3	15.5	38.8	36.4	19.9	16.5	9.2	－
平成７年	1496	57.5	15.8	41.7	33.8	18.0	15.8	8.7	－
平成11年	1650	58.0	16.9	41.1	33.1	18.3	14.8	8.8	－
平成15年	838	56.3	18.5	37.8	36.4	19.7	16.7	7.3	－
平成19年	640	53.1	15.8	37.3	41.9	21.9	20.0	5.0	－
平成23年	1201	52.6	14.6	38.1	43.9	27.0	16.9	3.5	－

注）数値は回収数を100とした％

（６）市議会議員選挙での政党・候補者個人の重視度およびその理由

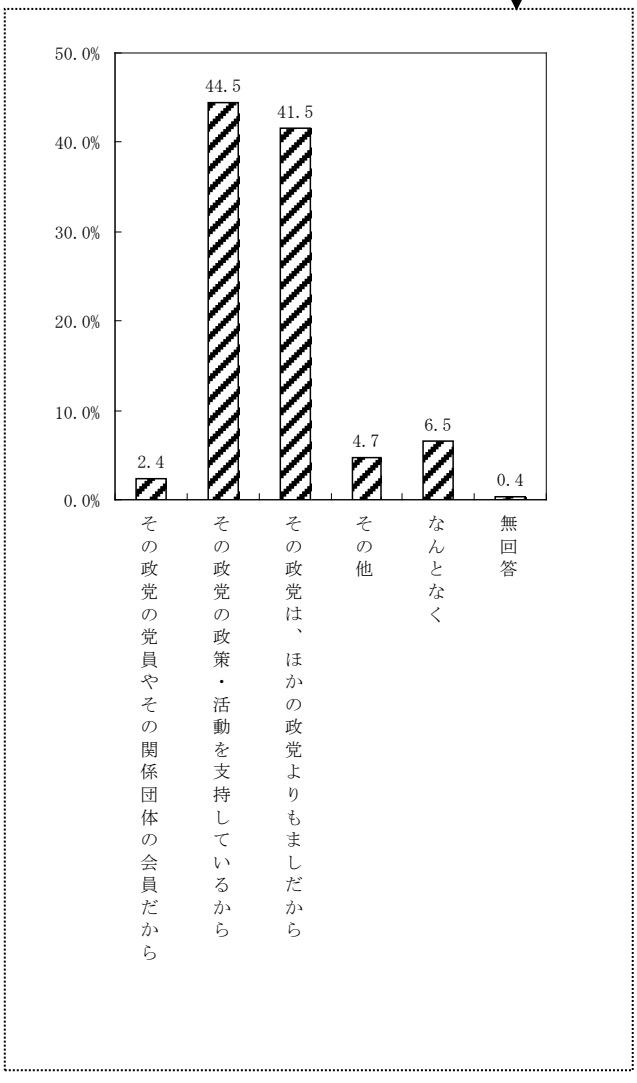
・今回の選挙における政党と候補者個人の重視度について、「政党を重くみた」が58.2%、「候補者を重くみた」が26.7%と、政党を重視している割合が高い。また、「いちがいにいえない」人は14.8%みられる。
・政党を重視した人にその理由をひとつだけ聞いたところ、「その政党の政策・活動を支持しているから」が44.5%と最も高く、次いで、「その政党は、ほかの政党よりもましだから」41.5%となっている。
・同様に、候補者個人を重視した人にその理由をひとつだけ聞いたところ、「その候補者は、識見・実績の点ですぐれていたから」が24.3%と最も高く、次いで、「その候補者をよく知っている（信頼できる）から」で23.7%となっている。

図 政党・候補者個人の重視度(Q15)<N=916>



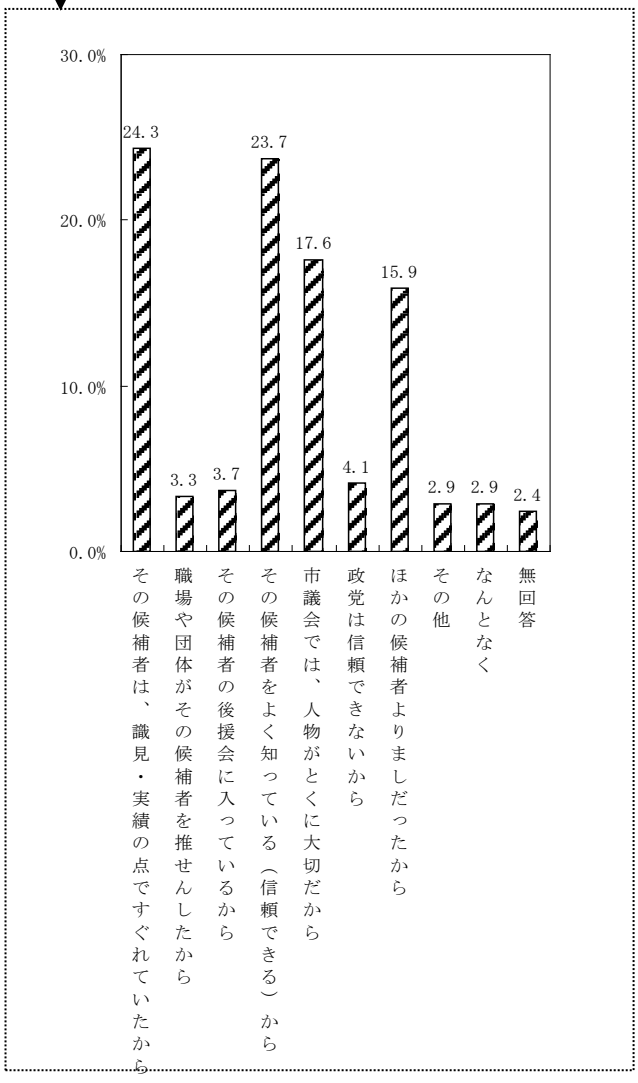
注)数値は投票した人を100とした%

図　政党重視の理由(Q15)<N=506>



注)数値は政党を重く見た人を100とした%

図　候補者個人重視の理由(Q16)<N=245>



注)数値は候補者個人を重く見た人を100とした%

・政党・候補者個人の重視度をこれまでの調査と比べると、「政党を重くみた」人が大幅に増加し、過去最高の重視度となった。一方、「候補者を重くみた」人は過去最低の重視度となった。
・政党を重くみる理由では、これまでの調査と比べて「その政党の政策・活動を支持しているから」という回答が上がり、「その政党は、他の政党よりもましだから」が下がっている。
・候補者個人を重くみる理由では、これまでの調査と比べて「その候補者は、識見・実績の点ですぐれているから」という回答が上がり、「その候補者をよく知っている（信頼できる）から」が下がっている。

表 政党・候補者個人の重視度（時系列変化）

	投票した人	政党を重くみた	候補者個人を重くみた	いちがいにいえない	無回答
昭和54年	1099	30.8	53.0	13.4	2.7
昭和58年	1439	35.8	47.0	14.5	2.7
昭和62年	1427	38.4	44.8	13.5	3.2
平成３年	1093	37.5	42.5	17.5	2.6
平成７年	1096	21.6	59.0	17.5	1.8
平成11年	1246	30.3	43.3	21.5	4.9
平成15年	634	39.7	40.7	12.0	7.6
平成19年	471	39.9	38.9	18.9	2.3
平成23年	916	55.2	26.7	14.8	3.2

注）数値は投票した人を100とした％

表 政党重視の主な理由（時系列変化）

	政党を重くみた	その政党の党員やその関係団体の会員だから	その政党の政策・活動を支持しているから	その政党は、ほかの政党よりもましだから	その他	なんとなく	無回答
昭和54年	339	7.4	36.9	45.7	0.6	4.1	
昭和58年	515	6.4	37.5	43.1	1.2	1.7	1.0
昭和62年	548	7.5	37.8	41.4	2.6	2.7	0.9
平成３年	410	6.6	30.7	50.2	2.2	2.9	－
平成７年	237	5.9	38.4	43.9	3.0	0.8	2.1
平成11年	377	5.6	32.4	50.4	2.4	3.4	－
平成15年	252	9.1	29.8	53.6	2.8	4.8	－
平成19年	188	5.9	35.6	53.7	2.7	2.1	－
平成23年	506	2.4	44.5	41.5	4.7	6.5	0.4

注）数値は政党を重くみた人を100とした％

表 候補者決定の判断材料の充足度（時系列変化）

	候補者個人を重くみた	その候補者は、識見・実績の点ですぐれているから	職場や団体がその候補者を推せんしたから	その候補者の後援会に入っているから	その候補者をよく知っている（信頼できる）から	市議会では、人物がとくに大切だから	政党は信頼できないから	他の候補者よりましだったから	その他	なんとなく	無回答
昭和54年	583	26.9	3.8	－	22.3	36.2	8.4	－	0.3	2.1	
昭和58年	676	28.1	3.7	5.0	24.5	29.7	3.3	－	1.3	3.0	1.5
昭和62年	640	31.7	2.0	4.8	22.5	32.5	2.2	－	0.5	2.3	1.4
平成３年	464	30.2	1.9	5.2	18.1	33.0	5.0	－	1.1	4.1	1.5
平成７年	647	24.9	3.4	4.8	19.6	31.1	8.2	－	2.2	3.9	2.0
平成11年	540	22.8	3.0	6.1	21.7	31.5	6.9	－	1.7	4.6	1.9
平成15年	258	18.2	3.9	6.6	29.8	20.2	4.3	12.0	1.6	2.7	1.2
平成19年	183	15.3	1.1	6.0	29.0	19.1	3.3	19.7	2.7	1.6	2.2
平成23年	245	24.3	3.3	3.7	23.7	17.6	4.1	15.9	2.9	2.9	2.4

注）数値は候補者個人を重くみた人を100とした％